

大阪外環状線(新大阪～都島)鉄道建設事業に係る

環境影響評価

事後調査報告書

平成20年9月

大阪外環状鉄道株式会社

# 1. 事業者の名称、代表者の氏名及び主たる事業所の所在地

事業者の名称： 大阪外環状鉄道株式会社

代表者の氏名： 代表取締役社長 大林 祥泰

主たる事業所の所在地： 大阪市北区東天満二丁目6番2号

# 2. 対象事業の名称

大阪外環状線（新大阪～都島）鉄道建設事業

# 3. 対象事業及び環境保全対策の実施状況

## (1) 対象事業の実施状況

事業計画路線の位置は、下図に示すとおりです。



今回報告対象区間（歌島豊里工区）

なお、工事工程全般としては、土木工事を平成19年度から実施しています。対象工事の状況は、現在、都市計画道路歌島豊里線の橋台に必要な基礎杭を施工中です。工事工程表としては、下記に示すとおりです。

工事の状況（平成20年6月～平成20年8月）

年月	平成20年度											
	平成20年										平成21年	
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
基礎工												

#### 4. 事後調査の方法

##### ①事後調査の項目

事後調査の項目は事後調査計画書により、下表に示すとおりです。

事後調査の項目

区分	環境項目	事後調査の項目
建設工事中	騒音	建設機械の稼働に伴う騒音
	振動	建設機械の稼働に伴う振動

##### ② 調査地点、調査期間及び頻度、並びに調査方法

調査地点、調査期間及び頻度、並びに調査方法は、事後調査計画書により、下表に示すとおりです。

建設工事中における調査地点、調査期間及び頻度、並びに調査方法

環境項目	事後調査の項目	内 容	
騒音	建設機械の稼働に伴う騒音	調査事項	● 騒音レベルの 90%レンジ上端値
		調査地点	工区ごと（事業敷地境界の 1 点）
		調査期間及び頻度	● 準備工、杭基礎工、盛土工、掘削工実施時に 1 回ずつ ● 作業時間中 ● 複数の建設機械の稼働がする場合等、影響が大きくなる時期を対象として実施する
		報告時期	● 原則として調査の翌月
		調査方法	● 「環境騒音の表示・測定方法（JIS Z 8731）」に準拠して測定
		環境保全目標	● 騒音レベルの 90%レンジ上端値が 85 デンベル以下
振動	建設機械の稼働に伴う振動	調査事項	● 振動レベルの 80%レンジ上端値
		調査地点	● 工区ごと（事業敷地境界の 1 点）
		調査期間及び頻度	● 準備工、杭基礎工、盛土工、掘削工実施時に 1 回ずつ ● 作業時間中
		報告時期	● 原則として調査の翌月
		調査方法	● 「振動レベル測定方法（JIS Z 8735）」に準拠して測定
		環境保全目標	● 振動レベルの 80%レンジ上端値が 75 デンベル以下

## 5. 事後調査の結果及び検証

### ①建設機械の稼動に伴う騒音

基礎杭工としてアースドリル掘削機を使用しました。その際に騒音調査を実施しました。

調査結果は別紙-7のとおりです。騒音調査の結果は環境保全目標を満足しています。

### ②建設機械の稼動に伴う振動調査

基礎杭工としてアースドリル掘削機を使用しました。その際に騒音調査を実施しました。

調査結果は別紙-8のとおりです。騒音調査の結果は環境保全目標を満足しています。

以上

工事騒音様式

### 建設機械の稼働に伴う騒音調査結果

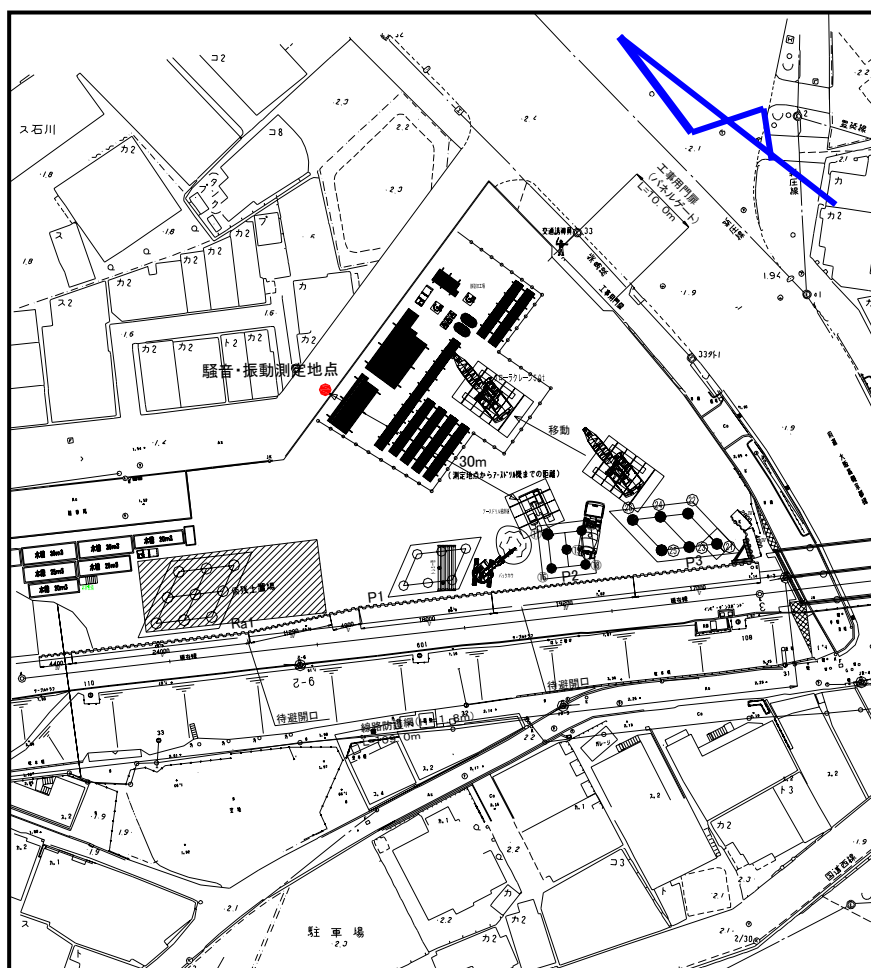
工区： 歌島豊里工区

用途地域： 準工業地域

調査日：平成20年7月14日

工 種	測定時間	調査結果		環境保全目標	主な 使用 建設 機械	主な 作業 内容	備 考
		騒音レベルの 90%レンジ 上端値 (デシベル)	作業内容 および 使用機械	騒音レベルの 90%レンジ 上端値 (デシベル)			
基礎工	14:22 ) 14:32	69	・基礎杭造成 ・アースドリ ル掘削機	85	アースドリ ル掘削機	基礎杭 造成	

調査地点位置図・機械配置図



(注) 測定位置と使用機械との距離を記入することとする。

工事振動様式

## 建設機械の稼働に伴う振動調査結果

工区：歌島豊里工区

用途地域：準工業地域

調査日：平成20年7月14日

工種	測定時間	調査結果		環境保全目標	備考
		振動レベルの80%レンジ上端値(デシベル)	作業内容および使用機械	振動レベルの80%レンジ上端値(デシベル)	
基礎工	14:22 ) 14:32	49	・基礎杭造成 ・アースドリル掘削機	75	

調査地点位置図・機械配置図

騒音調査地点と同じです。

(注) 測定位置と使用機械との距離を記入することとする。